

会長就任にあたって

一般財団法人省エネルギーセンター 会長 藤 洋作



このたび7月11日付をもちまして、南・前会長から一般財団法人省エネルギーセンターの会長職を引き継ぐこととなりました。我が国における省エネ・節電をリードしてきた当センターの会長職に就任し、改めて身の引き締まる思いでございます。

さて、東日本大震災後の我が国のエネルギー事情を省みますと、原子力発電所停止の影響等により、夏場・冬場における電力の需給安定が喫緊の課題となっており、国民各層のご協力により進展してまいりました省エネ・節電の意識・行動を定着させていくことが何よりも重要になっております。

また、今後の我が国経済社会に大きな影響を与える中・長期的なエネルギー需給構造のあり方に関しましては、現在、政府において新たな「エネルギー基本計画」の策定などの検討が行われております。供給サイドにおいては、原子力、化石エネルギー、再生可能エネルギー等の位置づけが見直されるとともに、需要サイドにおいては、省エネが「切り札」として一層重要な役割を担うと見込まれます。

さらに、グローバルな対応が不可欠な気候変動問題につきましては、長年に亘る国際的議論を経て、全ての主要排出国の参加を目指した、2020年以降の新たな枠組みの構築に向けた交渉が進みつつあります。今後、具体方策が検討される途上で、温室効果ガス削減と経済成長の両立を可能とする省エネへの期待がますます高まっていくと考えられます。

こうした状況の中、1978年の設立以来、35年の長きに亘り省エネ推進に携わってきた当センターといたしましては、これまで蓄積してきた豊富な経験を活かし、企画力・実行力を高めながら、省エネ・節電分野における企業・国民各層の活動への支援と、国の政策への協力等を、積極的に進めていく必要があると考えております。

このため、まずは、短期的な活動として、産業、ビル、家庭、地域等それぞれの分野のニーズに応じた省エネ・節電の技術・手法をきめ細かく、かつ分かりやすく情報発信してまいりたいと存じます。

また、中・長期的な活動としては、新エネルギーや蓄電、スマート・テクノロジー等の新たな技術をも包含した「エネルギー・マネジメント」というより広い視点から、関連技術・手法の開発・普及を図るとともに、こうした技術等を使いこなし、実践していく人材の育成を、積極的に行ってまいりたいと存じます。

さらに、国際的な活動として、発展途上国等を対象に、省エネ関連の政策・制度構築、人材育成等に係る専門家派遣や受け入れ研修等の国際協力を推進してまいります。あわせて、2008年に官民一体で設立された「世界省エネルギー等ビジネス推進協議会」と連携しながら、世界最高水準を誇る我が国省エネ技術等の移転・普及を通じて、温室効果ガス削減等の国際貢献を図るとともに、我が国省エネ関連ビジネスの国際展開を支援してまいります。

こうした当センターの活動を展開していくに当たりましては、私自身も国内外からの様々なご期待に最大限お応えすべく、新たな発想や工夫を大事にしながら、全力を尽くしてまいります。

そのためにも、エネルギーをはじめとする幅広い分野の皆様との連携が不可欠でございます。

皆さまには、今後とも格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。私の就任のあいさつとさせていただきます。

2013年7月